平成30年度上半期
Plan（計画）

日中・就労支援 部会
（30.2.21定例会資料）

| No | 困りごと（事象） | | 原因（分析） | どうやったらクリアできるか（仮説） | 具体的な取り組み | | | 評価予定時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 内容 | 誰が | | | 誰が | いつ | どうやって | |
| 日就1501 | 働く場がない（一般就労） | 当事者 | 当事者・雇用側双方の理解（情報）不足 | 事業所間での情報提供やネットワーク作りが必要 | 日中・就労<br>柏原市 | 30年度 | 啓発、連携、情報交換の場を作る。<br>就労支援マニュアル（仮）の作成。 | 30年度末 |
| 日就1502 | 働くことができるか不安（一般就労） | 当事者（保護者） | 一般就労に耐えられるか、定着できるのか不安。 | | | | | |
| 日就1503 | アフターフォローができない（一般就労） | 事業所 | 日常の業務に追われ手が回らない<br>定着支援の方法がわからない | 人員の確保及び制度の紹介と活用 | 日中・就労<br>柏原市 | 30年度 | ステップ就労等を活用しながら、就・との連携を強化する | 30年度末 |
| 日就1504 | 送り出した後の人員の確保（福祉的就労） | 事業所 | ニーズがどの程度あるのか把握できていない | 事業所間のネットワーク作り | 事業所<br>相談支援事業所<br>日中・就労 | 30年度 | 空き情報等を発信する | 30年度末 |
| 日就1505 | 工賃をもっとほしい（福祉的就労） | 当事者 | 単価の高い作業がない<br>受注が困難 | 複数の事業所が共同で受注できる体制作り<br><br>自主製品の常設販売（インターネットショッピング）<br><br>ホームページの活用 | 事業所 | 30年度 | 情報交換、連携を図る。 | 30年度末 |
| 日就1506 | 本人に合った職種（作業）の提供ができていない（福祉的就労） | 事業所 | 作業が見つからない | | 事業所 | 30年度 | | 30年度末 |
| | | | | | | | | |